

《今朝の聖書から》 “あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである（出エジプト記20：12）” が最も大切な律法の一つにあります。この律法には、その目的も示されていて、“主が賜わる地で、あなたが長く生きるため” に救われた民の行なわなくてはならないこととされています。今朝の聖書箇所を見ますと、“だれでも、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命までも捨てて、わたしのもとに来るのでなければ、わたしの弟子となることはできない” という御言葉を見て、“どんな意味かを、理解しなさい” と言われているように思うでしょう。イエス様は律法を否定されたことはありませんし、マタイ5：17で“わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思ってはならない。廃止するためではなく、完成するためである” と仰っています。14：32に進みましょう。“もし自分の力にあまれば・・・” とあります。私たちの抱えている問題の多くはこのような悩み、心配事といえるようなことが多いのではないのでしょうか。ここに、イエス様の素晴らしさ、“友と呼んでくださる” イエス様に頼んで力を頂くといい知恵が示されているのです。私たちは父や母、家族を愛したいと思えますし、何かをしたいと思えます。しかし、直面することの一つに、何とかする力がない、ということがあります。私たちはいったい、父や母を独力でどれだけ愛することが出来るのでしょうか。聖書は2度も“座して考える” という言葉をつかって、よく考えてみましょう、と言っているのです。私たちは、この人を愛する力をも、イエス様から頂かなければならないことが判るのです。また、ただ正しく、味わうことも、喜びとすることも、行なうこともできない決まりごととして、主の律法をみるのだとしたら、“塩もききめがなくなったら” と34節にあるように、人々を救いに導くことと何の関係もなくなってしまう。そんな時イエス様から力を頂くことが出来るのです。“規定から成っている戒めの律法を廃棄したのである。それは、彼にあって、（敵対による）二つのものをひとりの新しい人に造りかえて平和をきたらせ、十字架によって、二つのものを一つの中から神と和解させ、敵意を十字架にかけて滅ぼしてしまったのである。（エペソ2：15～16）”。これこそが、子という身分を与えられたクリスチャンの特権なのです。財産によって問題を解決しようと思ひ（33節）、その財産がなかなかできないことに、悩んでいることはないのでしょうか。

週報

2007年 9月 9日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。
使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885
静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26
☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp
牧師 村上定幸